

# いきものみつけ

News.  
Vol.28

発行：いきものみつけファーム滋賀推進協議会 編集：事務局 竜王 住所：甲賀市土山町黒川  
電話：090-7966-2262 FAX：0748-68-0598 E-mail:ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp 平成 年月日発行

五月十四日。快晴の空の下で2017年いきものみつけ寺子屋がスタートしました。甲賀市内の小学生を中心とした十七組の親子たちが土山町山内集落に集まりました。リピータが半数、初めての参加者が半数でした。

開講式では、「自分が毎日食べている『ご飯』の話からとのお米はどうやってできているのか?」を聞かれまじめに考えてくれている子どもたち。ご飯一杯のお茶碗には、32粒の粒のお米があり、秋の田んぼでは二株が分がご飯一杯であることを聞きました。

いきもの観察と言えば、黒川の田んぼ。リピーターの子どもたちは、生き物がいる場所をよく知つていて、お友達に教えてくれていました。

限られた時間で生きものを採ることに夢中で、「気持ち悪い」と言つてはいる親たちに、捕まえた生きものを誇らしげに見せています。



コオイムシ



シマドジョウ



アカハライモリ

## めざしたい子どもの姿

どれだけ知っているか?  
興味関心・知識

学んだことをどう生かすか?  
主体的学習

身につけたことをどう社会につなげるか?  
表現力・対話力

マイスタディ

アクティブ  
ラーニング

コミュニ  
ケーション

今年の寺子屋はどんな感じかな?リピーターたちは、期待を來てくれたことでしょう。今まで、いきものみつけ寺子屋が大切にしてきたことは、体験だけで終わりではなく、子どもたちの中で、興味を持ち、学びを自分のものにして、それを相手にどうつなげていくか?いきものみつけ寺子屋は学校では行うことのできない小さな体験、発見、を子どもたちが楽しみながら行い、子どもたちの成長を親も認められる場にしたいと考えています。

# いきものみつけ寺子屋スタート 初夏の田んぼで いきもの観察・田植え

本日メインの田植えです。

猪鼻のファームに移動し現地へ。今年はオーナーのかつちゃんが不在のために指導者は、地域の岸さん夫婦。

林さんにより、すでに田植え機で植えられた苗が8セ

の田んぼに広がり、私たち

ように少しだけ残してくだ

さっていました。

2. 3本の苗を植えて行

くのですが、泥の田んぼに

入ったのが初めての子どもたちもいて、植えるどころ

ではない、抱きかかえられ

ても、足を突っ込むのが嫌

な子たちもいました。が、

三十分後には、すっかり泥

にも慣れている姿に、びっ

くり。

多いところや少ないところ、密なところもあり、出

来さえは？？？だったのですが、なんとか終わることが

できました。

猪鼻に山中から流れる

小さな川です。「どの川に降りる道を使うには

板橋を使つしかない！」

（落ちたらどうすんの？）

とのこちら側の心配をよそに、子どもたちはス

着くことができました。

いやあ、落ちなくて良かつた（ホツ）

後で聞くと渡つたお母さんは、「落ちるより、（自分の体重で）板が割れたらどうしよう…」の心配も合

つたらしいでした。はい、私もそう思っていたでしょ

う。ちなみにこのあたりは昭和の初期にはまだ立派な

橋はなかつたので、板橋を

使って川岸に渡り、洗濯や野菜洗いなどをしていたよ

うです。

さてさて、まだ終わりません。この日は暑かったと

いうこともあり、また冷た

い川の水でひと遊び。連休明けの楽しい一日となつた

でしょう。

「泥だらけの体や足をこのまま車に乗つて帰るわけにはいかないな」との声から、急きよ洗い場を地域の方に見つけてもらいました。

猪鼻に山中から流れる小さな川です。「どの川に降りる道を使うには板橋を使つしかない！」（落ちたらどうすんの？）とのこちら側の心配をよそに、子どもたちはス

## ○○次回予告○○

芋の苗植え

&いきもの観察会

日時：六月十一日（日）

十三時半～

集合場所：山内六友館  
持ち物：いしょくごて  
綿・バケツ

参加費：子ども3つの円  
保護者は不要

申し込み：六月八日まで  
メールかFAX

★みなくち子どもの森の  
生き物学芸員・河瀬さんが

ゲストティーチャーです。  
河瀬さんイチ押しの黒川の

田んぼでいきもの探しを楽

しみましょう。

★★みなくち子どもの森の  
生き物学芸員・河瀬さんが

ゲストティーチャーです。  
河瀬さんイチ押しの黒川の

田んぼでいきもの探しを楽

しみましょう。

けっこくな高さでした！